

# オートモルスーパーG

## 床版補修材

有機繊維を用いた超速硬コンクリートにより、道路橋RC床版の補修・補強工事における急速施工と床版耐久性の双方を実現することが出来ました。

### 特長

- 1 高靱性** 曲げ・たわみ硬化特性 (DFRCC)※を有する高靱性コンクリートです。
- 2 流動性** 粗骨材は13mm以下。棒状パイプや簡易フィニッシャーで鉄筋背面への充填が可能です。
- 3 作業性** 汎用ミキサーで練り混ぜ可能。流動保持時間は40分。施工厚さは30mm以上。
- 4 一体化性** 乾燥収縮が小さく既設コンクリートとの一体化性が良好です。
- 5 早期開放性** 3時間で24N/mm<sup>2</sup>以上の強度を発現します。



※土木学会「複数ひび割れ型繊維補強セメント複合材料 設計・施工指針(案)」に準拠

### 物性試験(測定例)

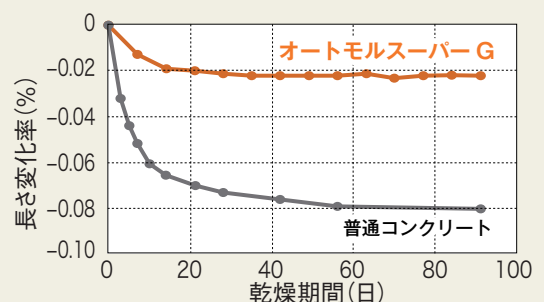
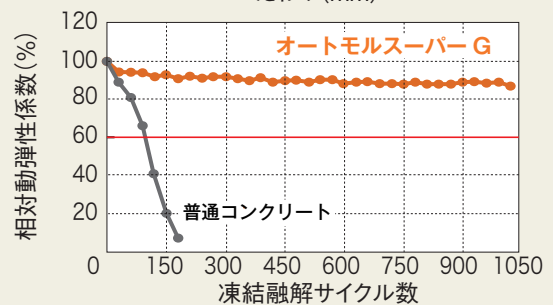
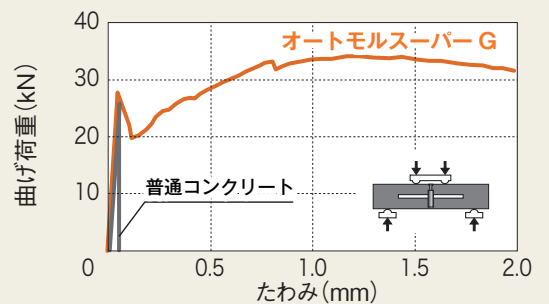
試験内容	材 齢	測定結果
可使用時間 (min)	—	45
単位容積重量 (g/cm <sup>3</sup> )	—	2.29
圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	3hr	38.2
	28日	64.7
静弾性係数 (KN/mm <sup>2</sup> )	3hr	28.5
	28日	36.2
長さ変化率 (%)	28日	0.021
	91日	0.023
曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	28日	9.21
曲げ靱性係数 (KN/mm <sup>2</sup> )	28日	8.10

### 標準配合

品名	荷姿・入目	1セット当り		1m <sup>3</sup> 当り※2
オートモルスーパーG	A材	21.7kg/袋	2袋(43.4kg)	66袋(1,430kg)
	B材	23.0kg/袋	1袋(23.0kg)	33袋( 759kg)
	繊維※1	0.69kg/袋	1袋(0.69kg)	約30L/セット 33袋( 22.7kg)
	清水	—	5.74kg	189kg

※1: 繊維は練混ぜ量に応じて大(4.55kg)、中(1.38kg)、小(0.69kg)、3種類の荷姿を用意しています。

※2: 打設量に応じて、フレコン対応も可能です。



# 施工手順

## 1 下地処理

- ① 施工面の浮き部、ひび割れ部やその周辺の脆弱部をはつり取り、乳剤や油分、塵埃等を除去してください。
- ② 上端鉄筋の防錆処理が必要な場合は、別途、事前に処理しておいてください。
- ③ 下地施工面との接着性確保のため、プライマーを塗布してください。
- ④ 型枠打設の際は、オートモルスーパ- Gの打設に耐えられるよう確実に組立ててください。



下地処理(接着剤塗布)

## 2 練り混ぜ

- ① 強制練りミキサーを用意し、B材(粗骨材)、A材(モルタル)の順に投入して、よく空練りしてください。
- ② バケツ等に所定量の清水を計量し、専用遅延剤を添加してよく混ぜ合わせ、溶解させてください。
- ③ ミキサーを稼働させながら清水を加え、1分程度練混ぜてください。
- ④ ミキサーを一旦止め、所定量の繊維を揉みほぐしながら満遍なく加え、再度2分程度練混ぜてください。



練り混ぜ(排出)

## 3 打設

- ① 打設部にオートモルスーパ- Gを落として塗り広げ、空隙を残さないよう丁寧に打設してください。
  - ② 所要の施工厚を確保した後、被膜養生剤を塗布し、コテ押しして表面を平滑に仕上げてください。
- ※施工規模によってはスクリードや簡易フィニッシャなどを併用すると効果的です。



打設

## 4 養生

- ① 打設後3時間程度は、雨打たれ等による水の浸入がないように養生を行ってください。

### 関連 商材

#### 吸水調整材



アクリル系  
高性能吸水調整材  
リペアプライマー



モルタル接着増強剤・  
吸水調整材  
キープジョンK-100



打継用接着剤  
ポンドE2000



亜硝酸リチウム系  
防錆剤  
リペアペースト

#### 鉄筋防錆材



亜硝酸リチウム系  
防錆材  
RM-40S



内部挿入型  
犠牲陽極材  
パッチガード工法

#### 表面保護材



ケイ酸塩系  
含浸材  
エパープロロンG

※商品の詳細については弊社までお問い合わせください。



## 危険

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。発がんのおそれ。臓器の障害(呼吸器系)。  
長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系・腎臓)。

【安全対策】・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
・粉じん、ヒュームを吸入しないこと。  
・取扱い後はよく手、顔を洗うこと。

【保管】・部外者が触れないような措置をし、保管すること。

【廃棄】・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

【応急措置】・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

・皮膚に付着した場合：水またはシャワーで洗うこと。

・眼に入った場合：よく水で洗浄し、直ちに医師に連絡すること。

・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。

・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

本製品の安全な取扱いについては、安全データシート(SDS)をご確認ください。

## ⚠ 注意事項

【使用上の注意】・気温が5℃以下の場合は施工を中止するか、保温状態がとれる環境で施工すること。  
・破袋または一度開封して放置された材料は使わないこと。  
・本製品はセメント製品につき湿気厳禁。雨露や直射日光を防ぎ、パレット等を敷き床面から離し、通気の良い場所で保管し、製造後3ヶ月までを目安に使用すること。

### カタログに 関する 注意事項

・本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。  
・本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。  
・本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。  
・本カタログは2020年6月に作成しました。

## 株式会社 トクヤマ エムテック

URL <http://www.k-tokuyama.co.jp>

ISO 9001



JTCCM

OSCA

ISO 1857

(登録範囲) <http://www.jtccm.or.jp/>



MS

JAB

GM015

### 本社・東日本事業部

103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-2-5 ERVIC人形町6F  
TEL 03-5643-3601 FAX 03-3249-3615

### 中日本事業部

573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3  
TEL 072-857-2770 FAX 072-857-1125

### 西日本事業部

中国営業所 745-8648 山口県周南市御影町1-1(株)トクヤマ セメント開発グループ2F  
TEL 0834-62-7201 FAX 0834-62-7202

九州営業所 812-0055 福岡県福岡市東区東浜2-82-2  
TEL 092-642-9070 FAX 0834-62-7202

### 首都圏セメント建材 開発センター

299-0268 千葉県袖ヶ浦市南袖10  
TEL 0438-60-8770 FAX 0438-60-8370

工場 / 枚方工場(大阪) 袖ヶ浦工場(千葉) 九州製造拠点(株)熊本硅砂鉱業(熊本)

販売店